

こども若者★いけんぱらす いけんひろば

テーマについての事前説明

令和5年7月27日・28日

○いけんぱらす開催日時
令和5年8月2日(対面開催)
令和5年8月3日(オンライン開催)

1. いけんひろば テーマ

テーマ	若者と食の今後について考える！
(テーマの説明)	<ul style="list-style-type: none">• ロシアがウクライナに侵攻したことなどによって、食料を海外から安く・安定的に購入することが難しくなっています。• また、人口減少への対応や環境に配慮した農業の必要性などによって、今後さらに食を取り巻く課題が深刻化してくことが考えられます。• そうした食の課題に対して、今後どのようにしていくべきかなど、今後の食料・農業・農村に関する課題や解決策について、皆様のご意見を聞かせてください。

2. いけんひろば当日に話してほしいミニテーマ

ミニテーマ①

食の安全保障

ミニテーマ②

農業者の人口減少

ミニテーマ③

農業・食品産業の環境対応

ミニテーマ①

食の安全保障

ミニテーマ②

農業者の人口減少

ミニテーマ③

農業・食品産業の環境対応

①-1. 「食料安全保障」ってなに？

①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- 「食料安全保障」という言葉を聞いたことがありますか？
- 「食料安全保障」とは、国連食糧農業機関でその意味が定められています。「食料安全保障」を考えるにあたっては、4つの視点から見ることができます。

【国連食糧農業機関（FAO）の定義】

食料安全保障は、**全ての人**が、**いかなる時**にも、活動的で健康的な生活に必要な食生活上の**ニーズ**と**嗜好**を満たすために、**十分で安全かつ栄養ある食料を、物理的にも社会的にも経済的にも入手可能**であるときに達成される。

“Food security exists when all people, at all times, have physical, social and economic access to sufficient, safe and nutritious food which meets their dietary needs and food preferences for an active and healthy life.”
This widely accepted definition points to the following dimensions of food security:

【食料安全保障の4つの要素】

Food Availability（供給面）

：適切な品質の食料が十分に供給されているか

The availability of sufficient quantities of food of appropriate quality, supplied through domestic production or imports (including food aid)

Utilization（利用面）

：安全で栄養価の高い食料を摂取できるか

Utilization of food through adequate diet, clean water, sanitation and health care to reach a state of nutritional well-being where all physiological needs are met. This brings out the importance of non-food inputs in food security.

Food Access（アクセス面）

：栄養ある食料を入手するための合法的、政治的、経済的、社会的な権利を持ちうるか

Access by individuals to adequate resources (entitlements) for acquiring appropriate foods for a nutritious diet. Entitlements are defined as the set of all commodity bundles over which a person can establish command given the legal, political, economic and social arrangements of the community in which they live (including traditional rights such as access to common resources).

Stability（安定面）

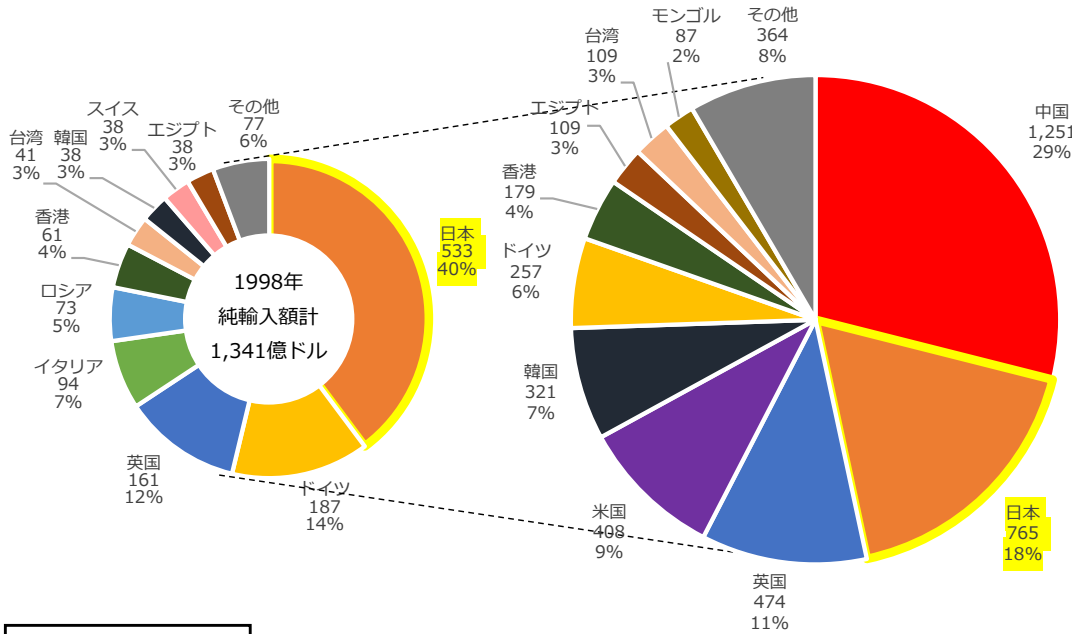
：いつ何時でも適切な食料を入手できる安定性があるか

To be food secure, a population, household or individual must have access to adequate food at all times. They should not risk losing access to food as a consequence of sudden shocks (e.g. an economic or climatic crisis) or cyclical events (e.g. seasonal food insecurity). The concept of stability can therefore refer to both the availability and access dimensions of food security.

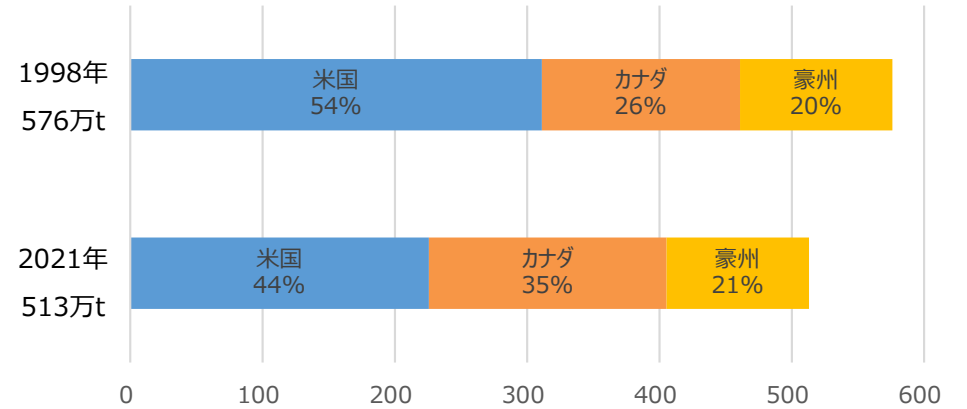
①-2. 日本は食料を輸入に頼っている

- 20年前は、食料自給率は低くても外国から食料を購入できていました。しかし近年、中国が輸入を増やし、世界の中でプライスメーカー的な地位になりつつあり、日本が自由に食料を輸入するのが難しくなっています。
- 日本は小麦、大豆、飼料、油脂類等の自給率は低くなっており、大部分を輸入に頼っています。例えば小麦は米国、カナダ、豪州からの輸入が多くなっています。肥料の1つ、リン酸アンモニウム(りん安)は中国からの輸入が9割です。

農林水産物純輸入額の国別割合

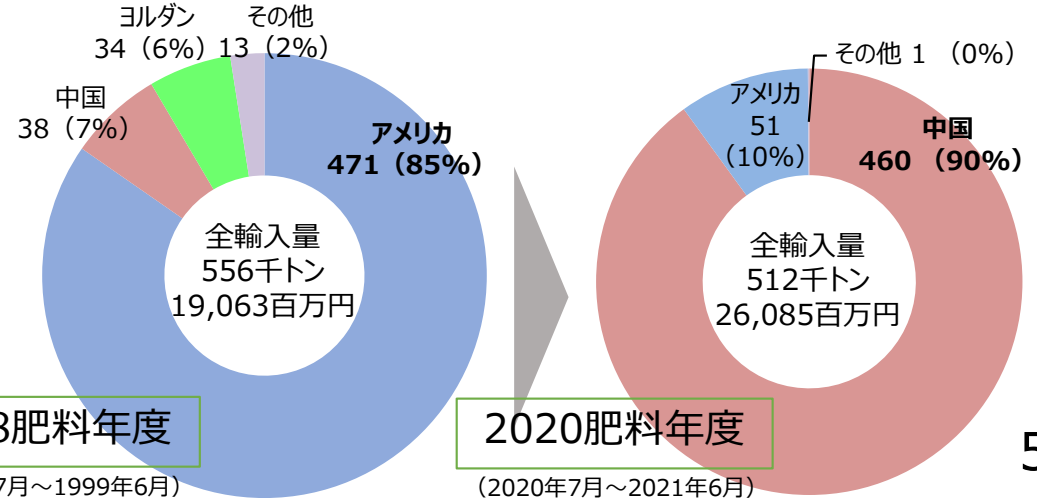


日本が小麦を輸入している国と割合



資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省にて作成。
注1：主な用途は、小麦は食糧用 注2：加工品の原料分は含まない。

日本が肥料（りん安）を輸入している国と割合



資料：財務省「貿易統計」を基に作成

資料：「Global Trade Atlas」を基に農林水産省作成
注：経済規模とデータ制約を考慮して対象とした41か国のうち、純輸入額（輸入額-輸出額）がプラスとなった国の純輸入額から作成。

<凡例>
国名
純輸入額 (億ドル)
シェア (%)

①-3. 日本の食料品の価格は上がっている

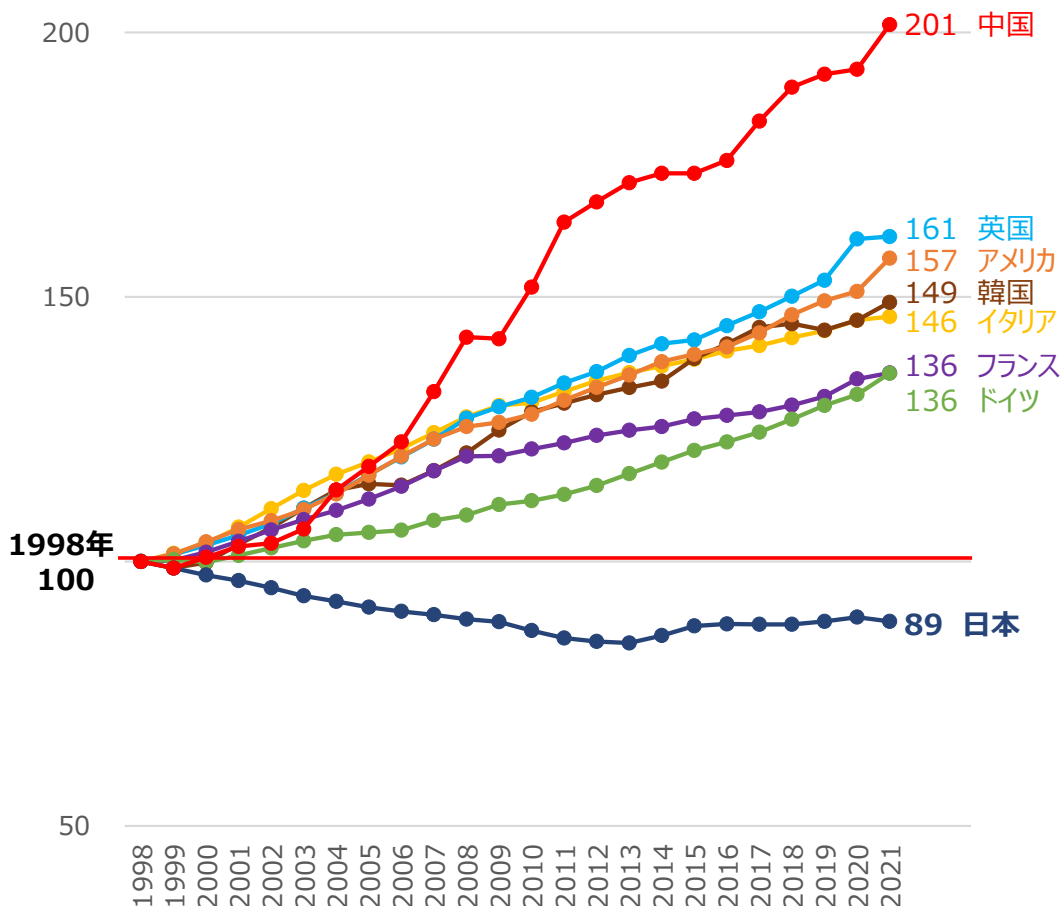
①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- 1998年以後、世界の主な国の中で、日本は物価が上がっていない状態が続いています。
- 食料の値段は1998年以後、下がっている品目が多かったものの、近年は上がりつつあります。

各国におけるGDPデフレータの推移 (1998年=100)

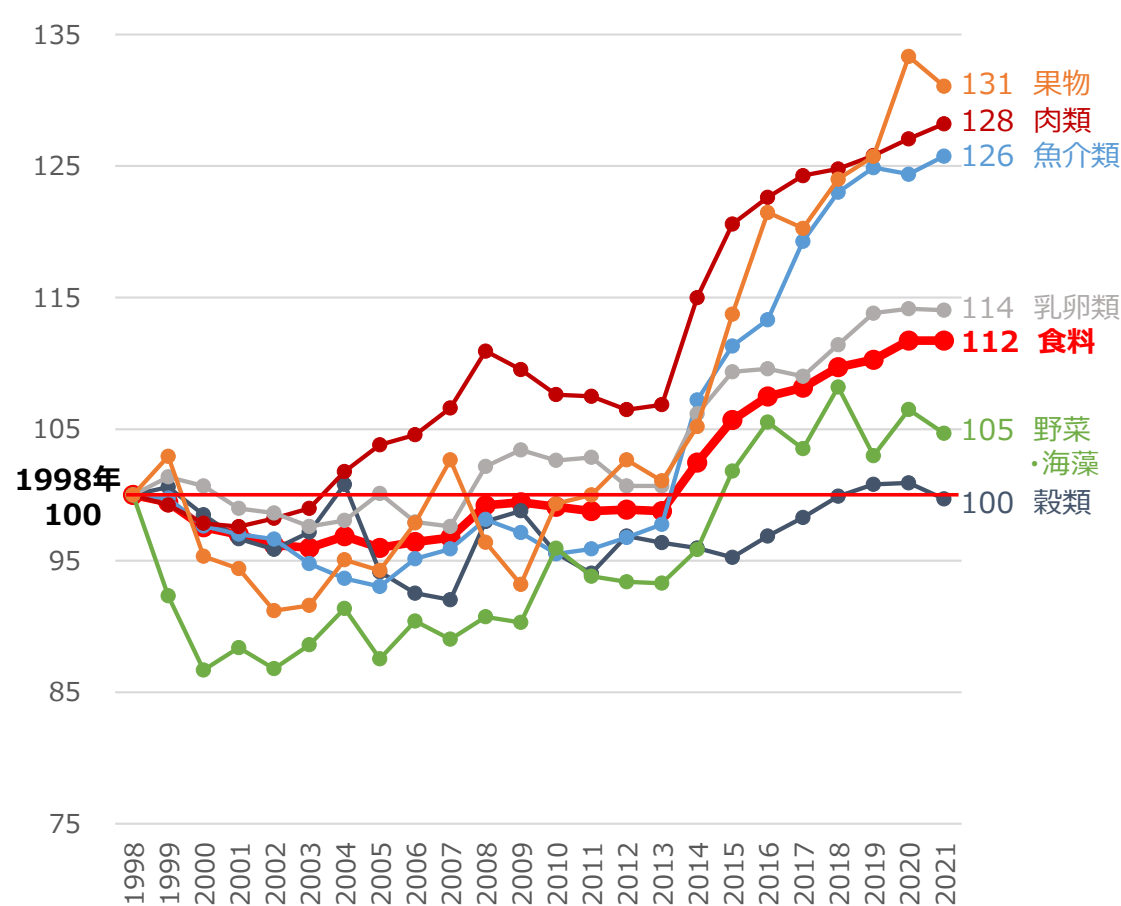


資料：THE WORLD BANK

注1：GDPデフレータとは、(名目GDP) / (実質GDP) × 100で計算される、消費だけでなく、設備投資や公共投資なども含めた国内経済全体の物価動向を表す包括的な指標。

注2：資料では2015年=100とされているものを、1998年=100と計算。

食料の消費者物価指数の推移 (1998年=100)



資料：総務省「消費者物価指数」(2020年基準消費者物価指数)

注：資料では2020年=100とされているものを、1998年=100と計算。

①-4. 日本のスーパーなどの売上は少ない

①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- 食料品は生産者(出荷者)から「卸売業者」→「仲卸業者」→「スーパー」の流れで私たちの手元に届きます。
- 卸売業者、仲卸業者、スーパーマーケットはどれも、売っても儲けが出ていないか、儲けがとても少ない状況にあります。私たち消費者にとっては安く買えることも大事ですが、生産者が今後も食料を作り、スーパーなどが売り続けられるような値段が付けられていくことが重要です。

中央卸売市場卸売業者及び仲卸業者の営業収支（総売上高に対する割合）の内訳（2020年度）

【卸売業者】

単位：%

【仲卸業者】

単位：%

	青果	水産	食肉	花き		青果	水産	食肉	花き
売上総利益（粗利）	6.57	5.41	4.27	9.73	売上総利益（粗利）	12.81	13.16	8.00	19.25
販売費・一般管理費	6.16	5.05	4.20	9.88	販売費・一般管理費	13.24	13.62	7.20	20.11
うち人件費	2.74	2.89	2.13	6.40	うち人件費	5.75	7.44	3.13	10.95
営業利益	0.41	0.36	0.07	▲0.15	営業利益	▲0.42	▲0.46	0.80	▲0.86

資料：食品流通課調べ

スーパーマーケット経営指標（2021年度）

単位：%

売上高規模	全体	30億円未満	30億円以上 100億円未満	100億円以上 300億円未満	300億円以上 1000億円未満	1000億円以上
売上総利益（粗利）	26.17	26.45	25.20	26.37	26.90	26.05
営業利益	1.40	0.35	0.89	1.40	2.13	2.61

資料：2022年「スーパーマーケット年次統計調査報告書」
 (一社) 全国スーパーマーケット協会
 (一社) 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会

①-5. 今後は食料品を輸出することも重要

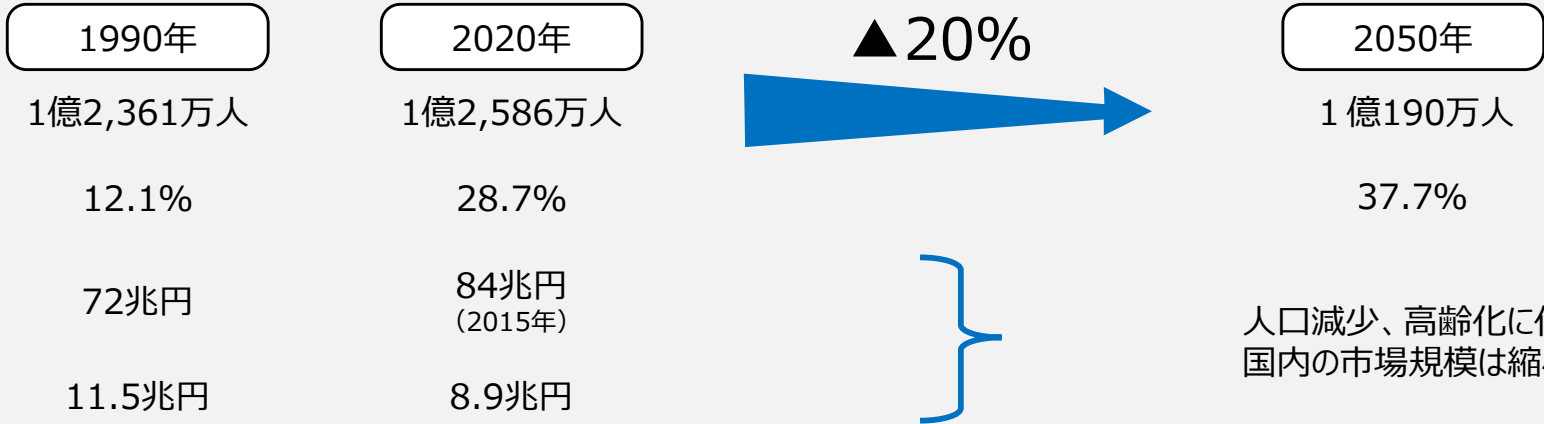
①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

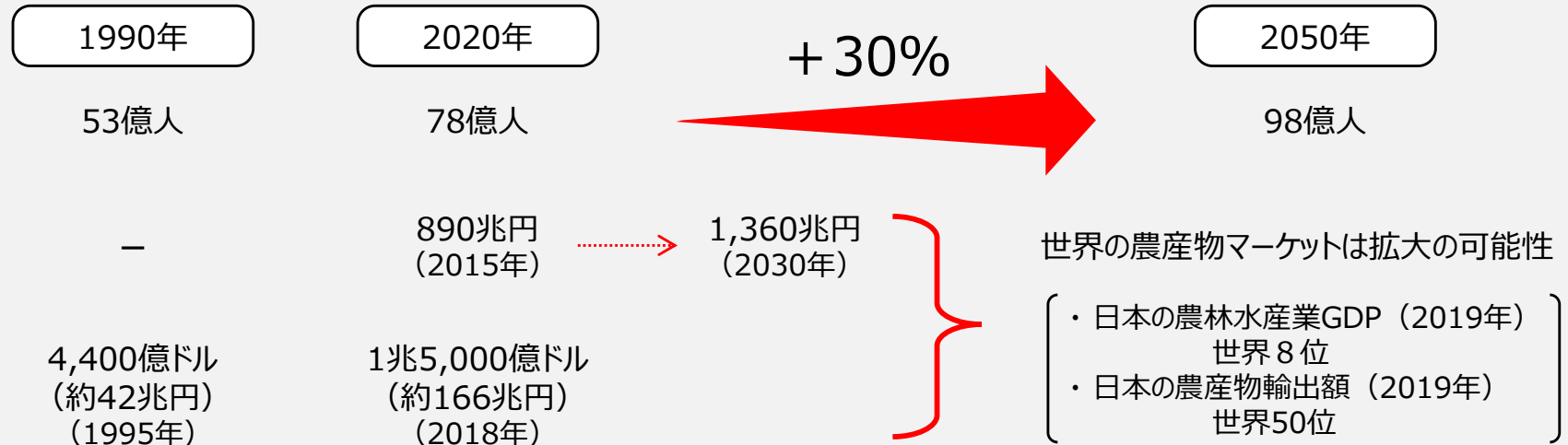
- 日本国内では人口減少や高齢化により、今後食料品・農産物が売れにくくなります。
- 海外では人口増加により、食料品・農産物がますます売れるよう可能性があります。このことから日本での農産物の生産力を強くし、輸出していくことで日本の食料品・農産物を海外でも売っていくことが重要です。

国内市場の変化



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」
農林水産省「農林漁業及び関連産業を中心とした産業連関表（飲食費のフローを含む。）」、「生産農業所得統計」

海外市場の変化



資料：国際連合「世界人口予測・2017年改訂版」、農林水産政策研究所「世界の飲食料市場規模の推計」、FAO「世界農産物市場白書（SOCO）：2020年報告」

①-6. 日本は輸出を伸ばせる可能性がある

①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- 海外の主な国と比べると、日本は生産額に対して輸出額が少なくなっています。海外の国を見ると、日本はまだ輸出を伸ばせる可能性があります。
- 国内用と輸出用の生産を行うことにより、日本での生産を拡大させたり、安定させたりすることができます。

諸外国の主要農産物・食品の輸出割合 (2019)

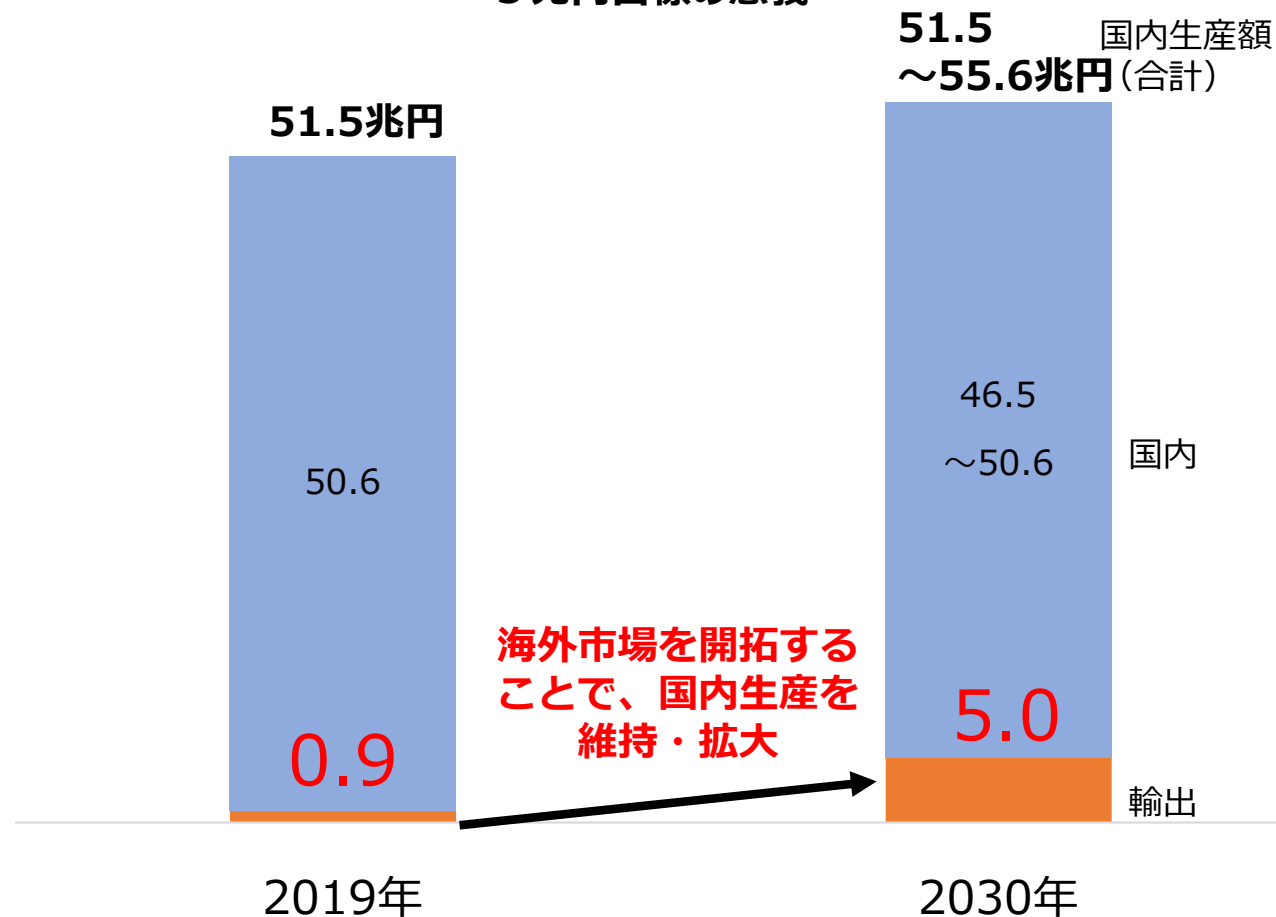
(億ドル)

国名	生産額 (農産物・ 食品製造業 (含水産業)・ 木材産業)	輸出額 (農産物・ 食品製造業 (含水産業)・ 木材産業)	輸出割合
アメリカ	12,489	1,424	11%
フランス	2,590	668	26%
イタリア	2,040	494	24%
イギリス	1,358	288	21%
オランダ	901	781	87%
日本	4,348	69	2%

資料：FAOSTAT（生産額、輸出額：主要農産物）
UNIDO（国際連合工業開発機関）ISIC Revision3
（生産額、輸出額：食品製造業（含水産業）・木材産業）

注1：FAOSTATの輸出額は生産額の対象品目と同一とした。
注2：UNIDOはISIC Revision3の「15」、「16」、「20」で計算。
注3：FAOSTATとUNIDOの重なる品目がないように調整（生乳など）

5兆円目標の意義



資料：農業：農業総産出額（生産農業所得統計）
林業：木材・木製品製造業（家具を除く）の製造品出荷額等（工業統計）及び栽培きのこ類の産出額（林業産出額）の合計
漁業：漁業産出額（漁業産出額）
食品製造業：国内生産額（農業・食料関連産業の経済計算）

注1：食品製造業の原料の一部に農業、林業、漁業生産物が含まれる。
注2：2030年の国内生産額は試算値

①-7. 輸出には注意も必要

①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- 日本で育成された質の良い品種は海外で高く評価されていますが、海外に許可なく流出していることがあります。
- 2016年に流出がわかったシャインマスカットは、特に中国で急速に普及しました。日本の約30倍もの面積で栽培されており、年間100億円以上の損失が発生しています。

【国内】

- シャインマスカットは我が国で育成されたブドウ品種
- 甘みが強く、食味も優れ、皮ごと食べられることから、高値で取引
- 輸出産品としての期待も高い

苗木が海外に流出



【中国】

- 「陽光バラ」「陽光玫瑰」「香印翡翠」等の名称での販売を確認
※「香印」はシャイン (xiāng yìn)と発音される。
- 「香印」を含む商標の出願（香印青提、香印翡翠）が判明
- 日本原産として、高値で苗木取引



中国産「陽光バラ」
(約490円/パック)

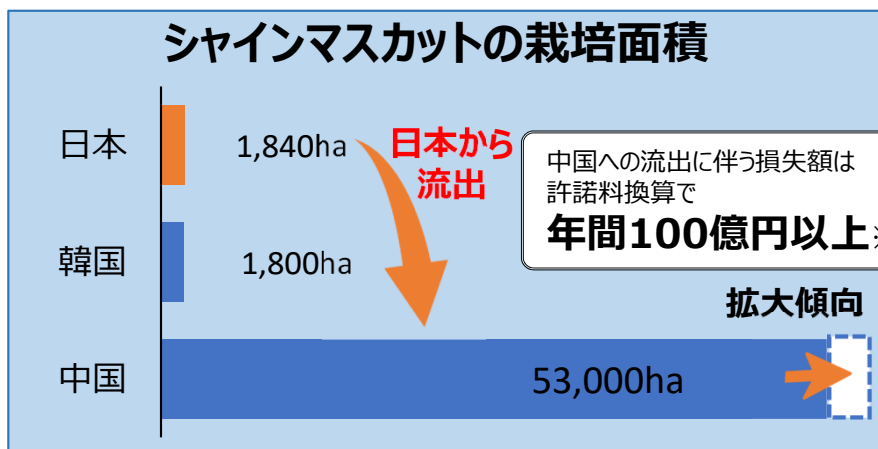


中国産「香印翡翠」
(約1,357円/kg)

【韓国】

- 韓国国内でのシャインマスカットの栽培、市場での販売を確認

シャインマスカットの栽培面積



生産物が更に輸出

【東南アジア等】

- タイ市場で中国産、韓国産シャインマスカットの販売を確認
- 香港市場で中国産、韓国産シャインマスカットの販売を確認
- マレーシア、ベトナム市場で韓国産シャインマスカットの販売を確認



タイ市場で発見された中国産「陽光バラ」



タイ市場で発見された韓国産「SHINE MUSCAT」

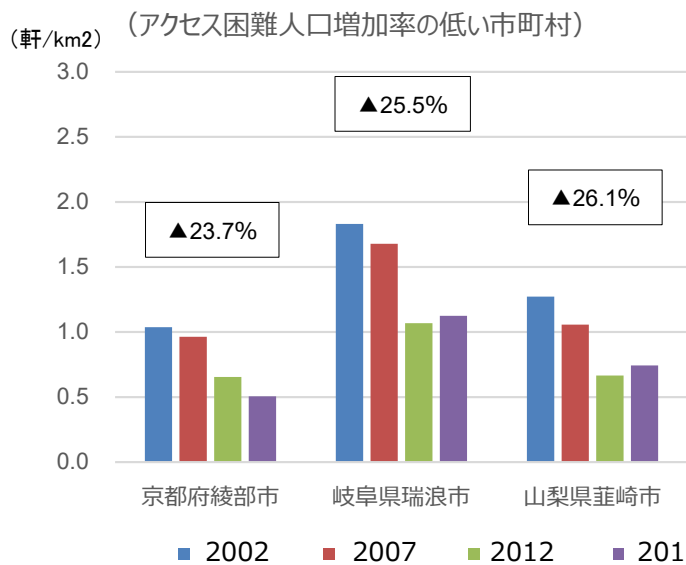
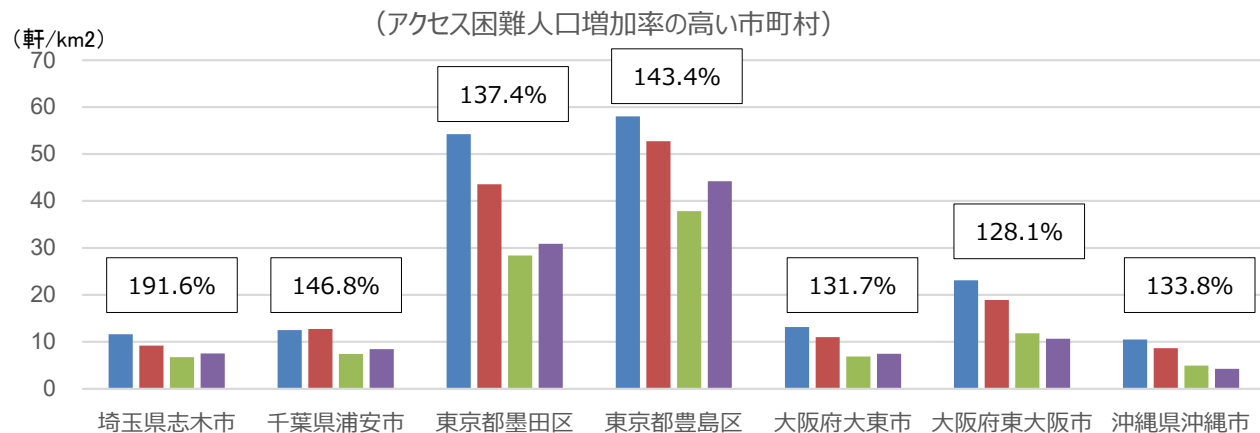
①-8. 食料品を買うのが難しい地域もある

- ①食の
安全保障
- ②農業者の
人口減少
- ③農業・食品
産業の環境対応

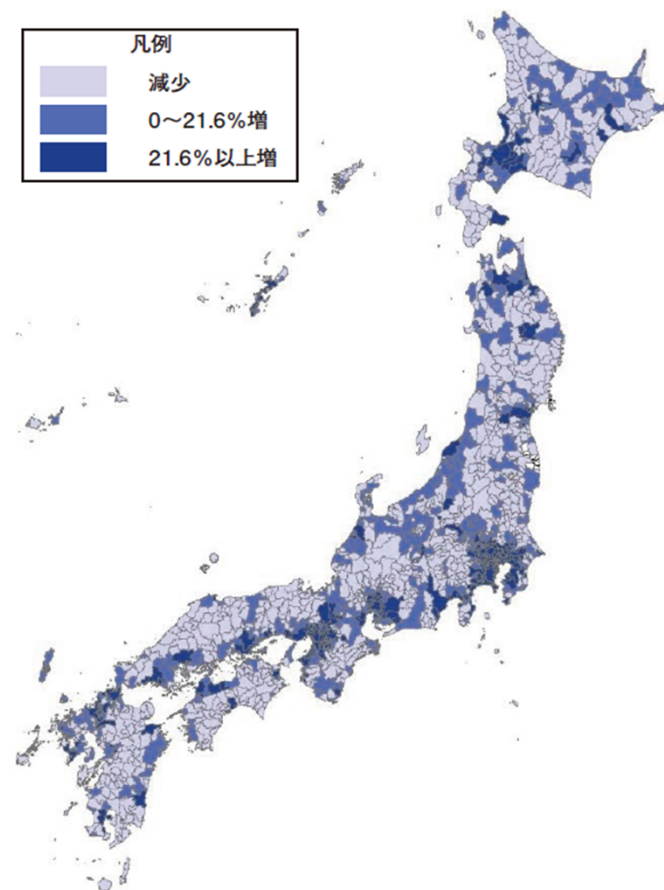
- 最近では東京や大阪などの都市部でも食料品が買える店舗が少なくなっている現状があります。
- 高齢者の自動車免許の返納などが進む中で、食料品を買いにくくなるという問題は全国的な課題です。

可住地面積当たり食料品店舗数

□内はアクセス困難人口増加率（2015年/2005年）



アクセス困難人口増加率・市町村別 (2015年/2005年)



資料：農林水産政策研究所

資料：店舗数については、2002、2007年は経済産業省「商業統計調査」、2012、2016年は総務省・経済産業省「経済センサス」
可住地面積については、2017年社会人口統計体系

①-8. 買うのが難しくなる理由は他にも

①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- 2024年から、食品を運ぶトラックなどの「自動車の運転業務」で働く時間が長くなりすぎないように上限が設けられ、これまでのように食品の運送が難しくなります(「2024年問題」といわれます)。
- また、貧困の人も増えています。これらのような色々な面から、日本のひとりひとりに食料を届けることが難しい状況が増えると予想されます。

自動車運送業に関する最近の国の動き

- 「働き方改革実行計画」(2017年3月働き方改革実現会議)
長時間労働の是正を図る観点から、時間外労働について罰則付きの上限規制を導入
- 「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」(働き方改革法) (2019年4月施行)
従来時間外労働規制の適用除外だった「自動車の運転業務」にも2024年4月から年960時間(=月平均80時間内)の上限規制を適用

≪労働基準法改正により法定：罰則付き≫

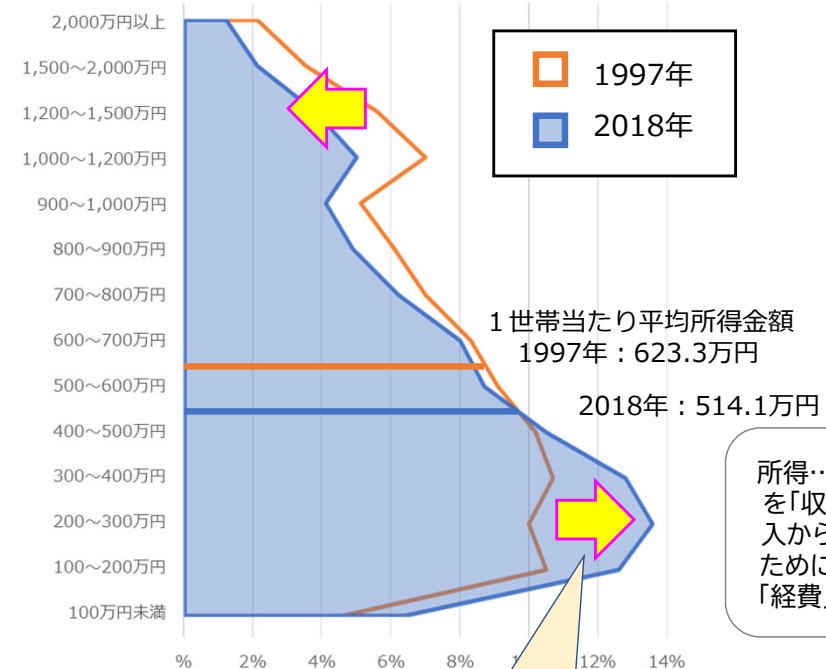
- (1) 原則、月45時間 かつ 年360時間
 - ・ 特別条項でも上回ることを出来ない年間労働時間を設定
 - ① 年720時間 (月平均60時間)
 - ② 年720時間の範囲内で、一時的に事務量が増加する場合にも上回ることを出来ない上限を設定
 - a. 2~6ヶ月の平均でいずれも80時間以内 (休日労働を含む)
 - b. 単月100時間未満 (休日労働を含む)
 - c. 原則 (月45時間) を上回る月は年6回を上限

(2) 自動車の運転業務の取り扱い

- ・ 施行後5年間 現行制度を適用 (改善基準告示により指導、違反があれば処分)
- ・ **2024年4月1日以降 年960時間** (月平均80時間)
- ・ 将来的には、一般則の適用を目指す

働ける時間が少なくなり (=動かせるトラックが少なくなり)、食品の運送が難しくなる可能性がある

所得金額階級別世帯数の相対度数分布の変化



所得…かせいだお金を「収入」といい、収入から収入をもらうためにかかったお金「経費」を引いたもの

資料：「国民生活基礎調査」

1997年に比べて、2018年では所得の低い人が増え、所得の高い人が減っています。自分で使えるお金が少ない人が増えているといえます。

①-9. 当日までに考えてきてほしいこと

①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- いけんひろばでは、次のことを質問する予定です。当日までにできれば考えてきてください。

ミニテーマ①

食の安全保障

★「いけんひろば」までにできれば考えてきてほしい質問（当日は質問を聞きながら進める予定です）

質問①	<ul style="list-style-type: none">あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食料が家で食べられない、または食べにくくなるかもしれない」と不安を感じたものはありますか。<ul style="list-style-type: none">➤ どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。➤ 何か1種類の食べ物に関することでも、色々な食料に関することでも良いです。 <p>例：スーパーやレストランで〇〇〇が前より高いのを見た。〇〇〇が売られなくなった。近くのコンビニが閉店し、家族や自分が遠くまで買い物に行く必要が出てきた。</p>
質問②	<ul style="list-style-type: none">質問①で紹介する出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。不安に思ったことを教えてください。 <p>例：〇〇〇が高くなり、今までと同じように食べるのが難しくなるかもしれない。周りに住むお年寄りや買い物しにくくなるかもしれない。</p>
質問③	<ul style="list-style-type: none">その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。
質問④	<ul style="list-style-type: none">質問③で考えた理由を考えると、日本に住む人が今後、食料に困らないようにするためには、何をしていく必要があると思いますか。

ミニテーマ①

食の安全保障

ミニテーマ②

農業者の人口減少

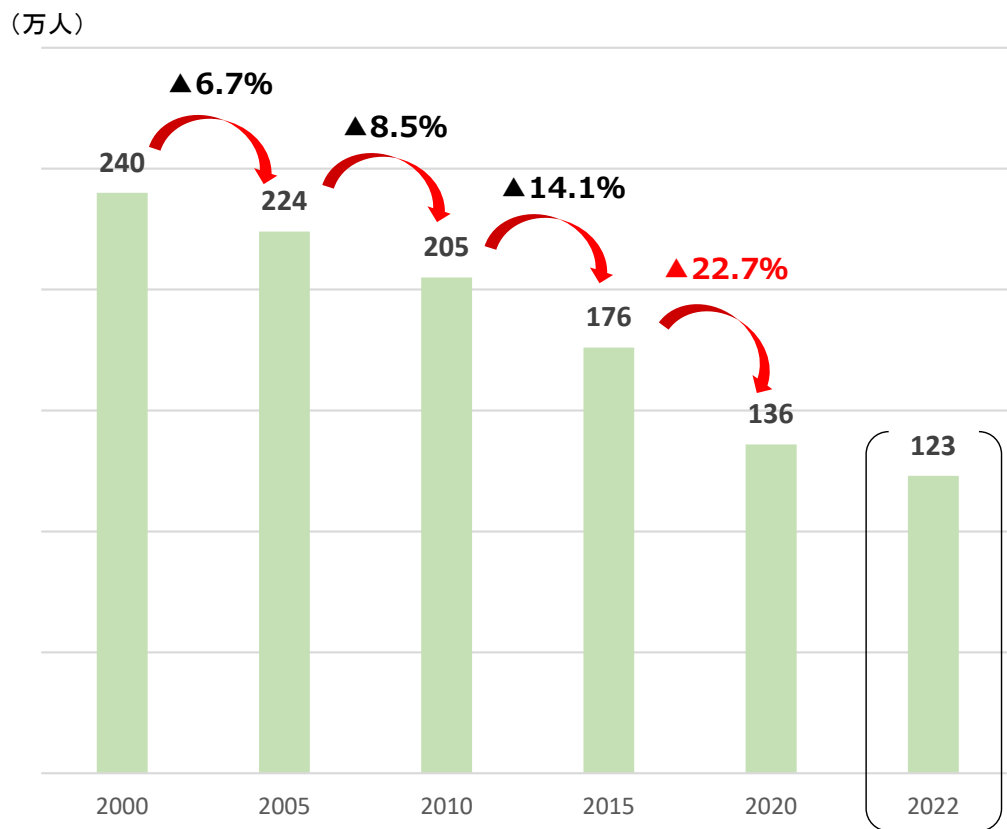
ミニテーマ③

農業・食品産業の環境対応

②-1. 農業者は今後、減っていく見込み

- 農業を普段の仕事にしている人(=農業者)は2000年から減り、240万人から136万人に減っています。
- 農業者は70歳以上が最も多いため(56.7%)、これからは農業者が大きく減ると見られます。

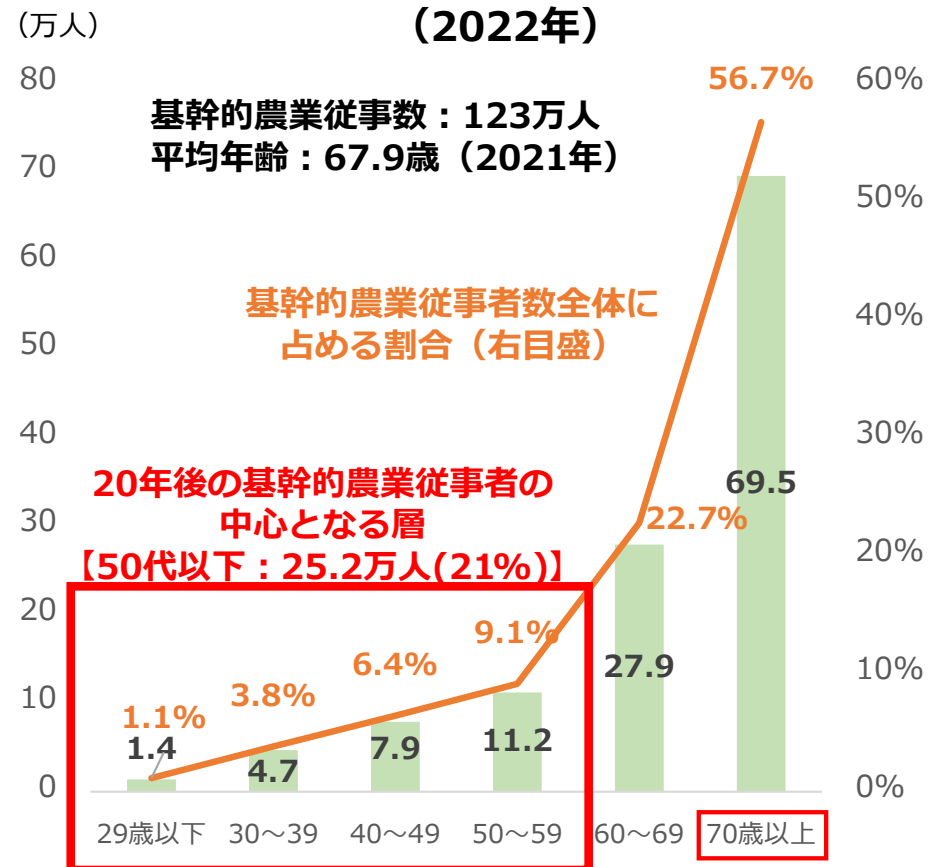
基幹的農業従事者数の推移



資料：

- 農林水産省「農林業センサス」(2022年のみ「農業構造動態調査」であり第一報)。
- 基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者(雇用者は含まない)。
- 2010年までの数値は販売農家であり、2015年以降は個人経営体の数値であることに留意。

基幹的農業従事者数の年齢構成 (2022年)



資料：農林水産省「農業構造動態調査」(2021年、2022年)

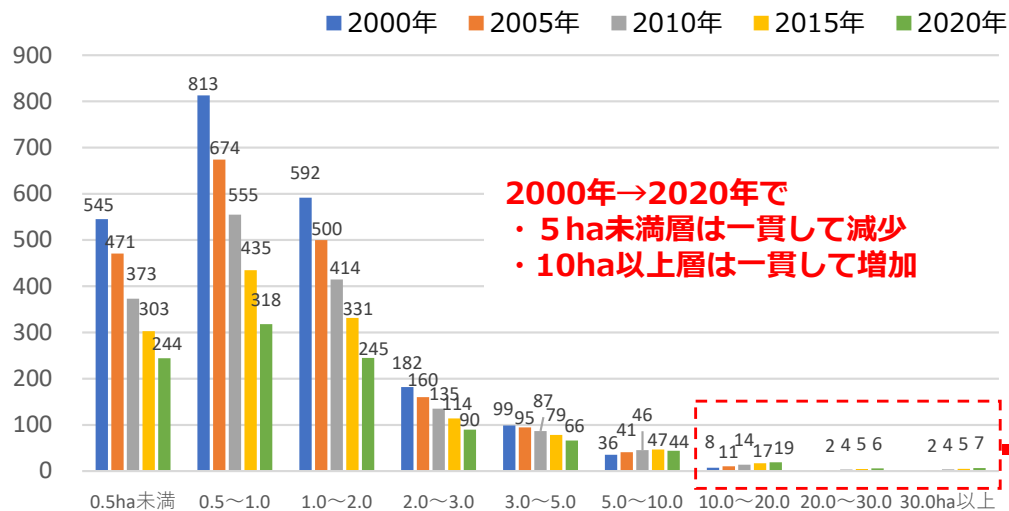
注：基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者(雇用者は含まない)。

②-2. 農業者減だが生産は維持されてきた

- 20年前と比べて農業者は半分になっています。しかし、生産が半分になったわけではなく、大規模化などによって生産は維持されてきました。

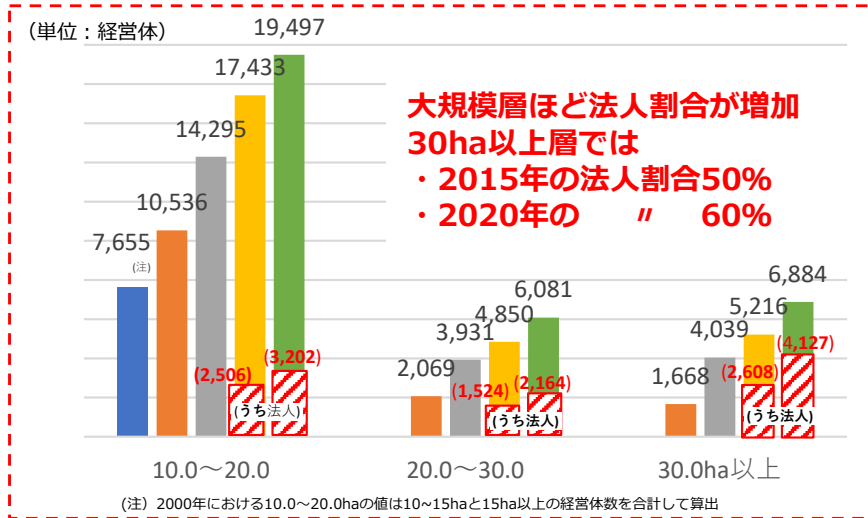
経営耕地規模別の経営体数の推移
(都府県：2000年～2020年)

(単位：千経営体)



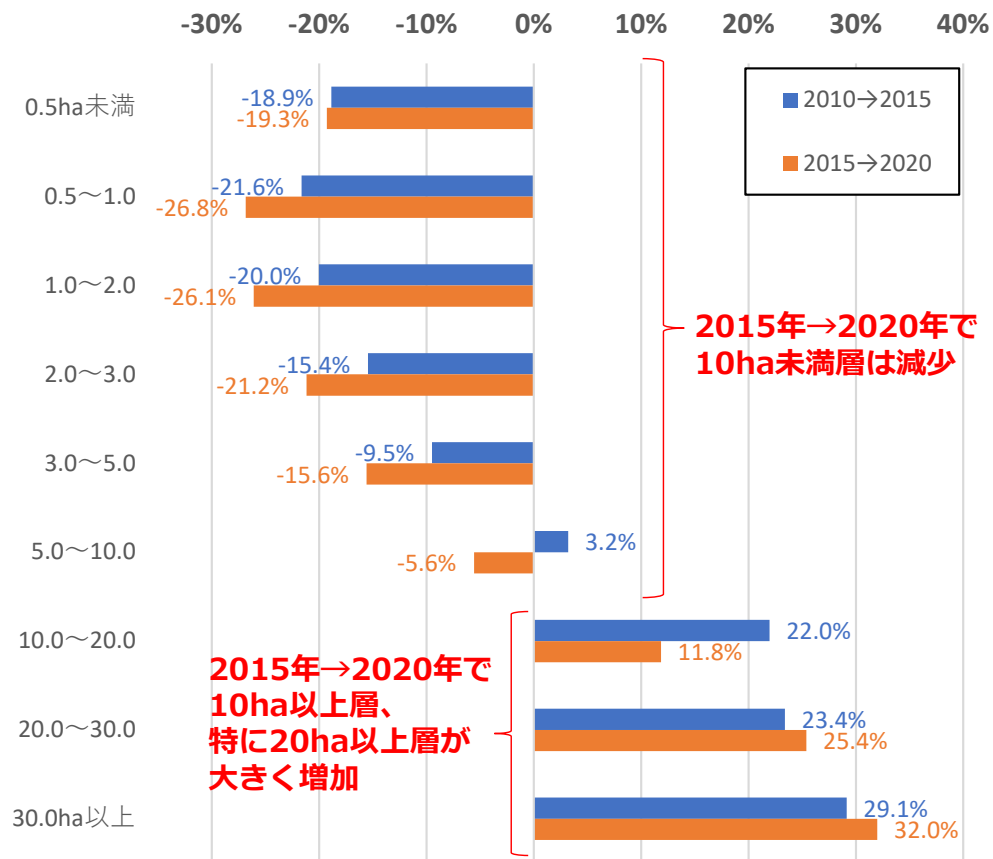
2000年→2020年で
・5ha未満層は一貫して減少
・10ha以上層は一貫して増加

10ha以上層のみ



大規模層ほど法人割合が増加
30ha以上層では
・2015年の法人割合50%
・2020年の " 60%

経営耕地規模別の経営体数の変化率（都府県）



2015年→2020年で
10ha未満層は減少

2015年→2020年で
10ha以上層、
特に20ha以上層が
大きく増加

離農した経営体の農地を引き受けることによって、
経営体の大規模化が進展

資料：農林水産省「農林業センサス」
注：2000年は販売農家、2005年以降は農業経営体の数値である。

②-3. 今後は効率的な生産を考える必要

①食の
安全保障

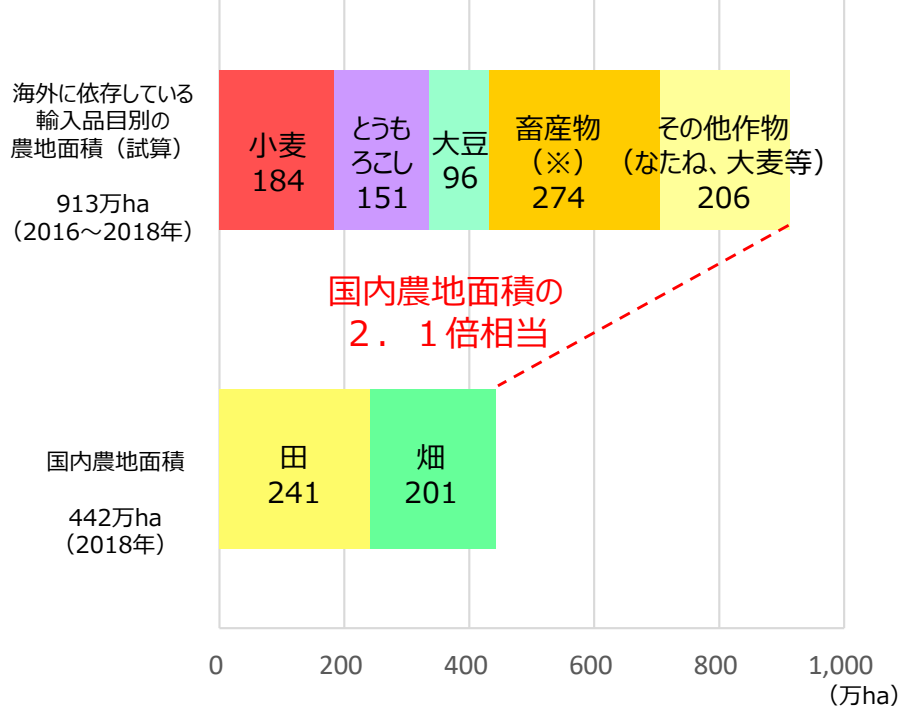
②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- 今後さらに農業者が減ることを考えると、これまでと同じように農産物をつくるには、需要に合わせた生産や効率的な生産を考えるなど、何らかの方法で農業を支えていくことが必要になります。

食料安定供給の立場からの見方

○日本の農産物輸入量の農地面積換算（試算）



資料：農林水産省「食料需給表」、「耕地及び作付面積統計」等を基に農林水産省で試算。
 (※) 輸入している畜産物の生産に必要な牧草・とうもろこし等の量を当該輸入相手国の単収を用いて面積に換算したもの。大豆油の搾りかすや小麦ふすま等も飼料として活用。
 注：1年1作を前提。

実際の需要と供給の見方

- 総人口の減少
1億2,615万人（2020年度）から20年後（2040年度）までに**2,000万人（15.9%）減少**すると仮定。
 - 消費トレンド
 - ・ 過去（1998年度～2021年度）の消費トレンドは、減少傾向。
 - ・ **少子・高齢化の進展から、過去の消費トレンドより減少傾向は強まる見込み。**
- ↓
- 主食用米については現在でも必要な水田面積は137万ha（2020年度実績）
 - 2020年度の**水田面積225万haと実際の主食用米の作付面積に大きなギャップ（88万ha）**があり、現場では**水田余りが発生**している。

- 食料安全保障の観点からは、農地の有効利用が必要
- 水田（主食用米の作付）は余っている
- このギャップを解消するためには水田（水稻作）を、輸入に頼っており、国内生産で需要を満たしていない畑地（麦・大豆等）等に転換していくことが必要ではないか

②-4. 最新技術を使った取組が進んでいる

- 農業を支えるため、最新技術を使った取組が進められています。

サービス事業体
(農協、農薬・肥料等の販売会社等)

提供サービスの一例

専門作業受注型

農作業を受託して
農業者の負担を軽減



- ドローンによる防除、追肥作業
- リモコン草刈り機等を活用した畦畔管理の代行

データ分析型

農業関連データを分析して
解決策を提案



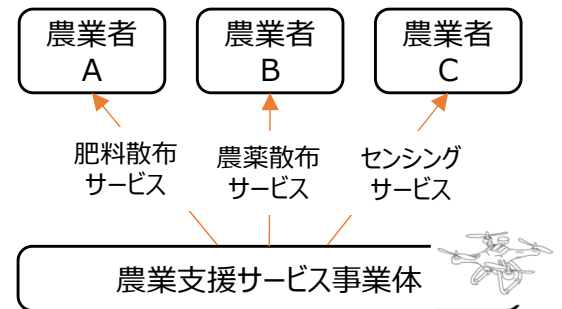
- ドローンを活用した作物の生育状況のセンシング
- 生産や市況のデータを分析、最適な出荷時期を提案

農作業委託によるスマート技術導入のイメージ・メリット

農業者が個別にスマート農機を購入



農作業委託によりスマート技術導入



農業者のデメリット

- 導入コストが高額な上、維持費も必要
- 個別に導入すると稼働面積・稼働時間が限定的となり、費用対効果が低くなる
- 操作ノウハウの習得が必要
- スマート技術は技術革新のスピードが速く、導入後すぐに陳腐化する可能性

農業者のメリット

- サービス料の支払いのみで、高額な導入コストや維持費は不要
 - 操作ノウハウの習得が不要
 - 常に新製品によるサービスが受けられる
- ### サービス事業体のメリット

- 多くの顧客を獲得することにより、導入や維持に要する費用を賄うことができる

事例 鹿児島県経済農業協同組合連合会

【概要】

JA鹿児島県経済連の若手職員20名をドローンオペレーターとして育成・配置。JA組合員から防除作業を受託し、ドローンを活用した農薬散布作業を代行。

【サービス内容】

- JA組合員からの作業申請の後、JA職員がほ場確認や薬剤選定を行い、県経済連職員が水稻、かんしょ、茶等様々な品目でドローンによる防除作業を実施。
- 一回の防除作業は約5名（オペレーター、薬剤調合者、ほ場案内者等）で実施。

作業料金:約2,600円/10a(薬剤費込、料金は薬剤により変動) 作業時間:約20分/ha ※JA南さつま(かんしょ)の例

②-5. 当日までに考えてきてほしいこと

①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- いけんひろばでは、次のことを質問する予定です。当日までにできれば考えてきてください。

ミニテーマ②

農業者の人口減少

★「いけんひろば」までにできれば考えてきてほしい質問（当日は質問を聞きながら進める予定です）

質問①	<ul style="list-style-type: none">あなたの周りに農業をしている人はいますか。あなた自身は農業をやってみたいと思いますか。
質問②	<ul style="list-style-type: none">「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージがあれば教えてください。<ul style="list-style-type: none">➤ 良いイメージ、あまり良くないイメージのどちらでも良いです。また、イメージがわからない、という意見でも良いです。
質問③	<ul style="list-style-type: none">質問②で話したイメージを持っているのはどうしてですか。思い当たることがあれば教えてください。
質問④	<ul style="list-style-type: none">農業がどんな仕事であればやってみたいと思いますか。
質問⑤	<ul style="list-style-type: none">これからは日本の農業者が減る見通しです。農業者を増やすほかに、日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

ミニテーマ①

食の安全保障

ミニテーマ②

農業者の人口減少

ミニテーマ③

農業・食品産業の環境対応

③-1. 農業にはプラス・マイナス両面がある

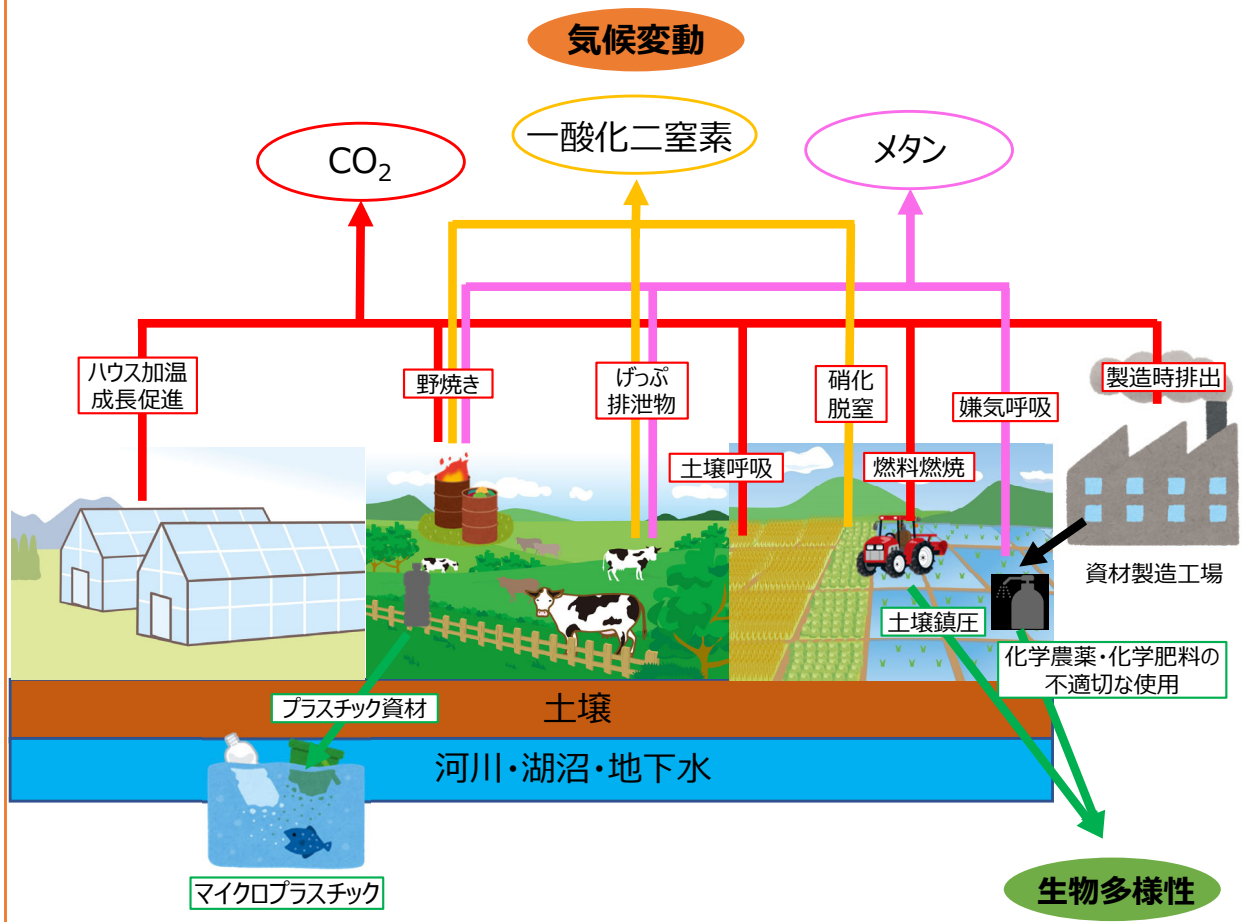
①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- 農業は景観の保全や土砂流出防止などプラスの面がありますが、温室効果ガスの発生や生物への悪影響などのマイナスの面もあるとわかってきました。

農業生産活動と地球環境問題リスク



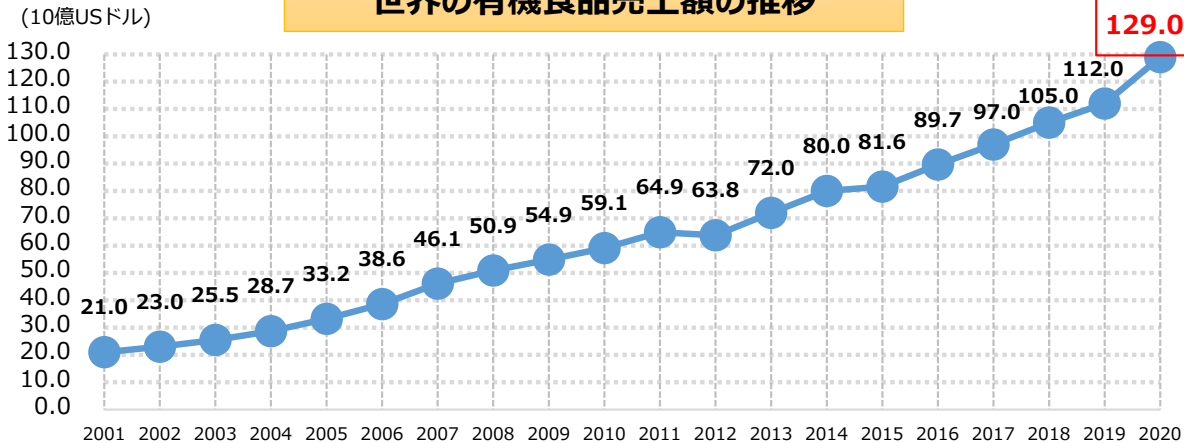
地球環境問題リスクとして指摘されている事項

主な項目	気候変動・生物多様性への影響
施肥 (肥料)	<ul style="list-style-type: none"> 作物に吸収されずに土壌中に残る肥料成分由来の一酸化二窒素の発生 肥料の生産・調達に伴う化石燃料の使用 硝酸態窒素による水質悪化
防除 (農薬)	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な農薬の使用による生物多様性の損失
農業機械・加温施設等	<ul style="list-style-type: none"> 化石燃料の使用による二酸化炭素の発生 農業機械作業による土壌の鎮圧
プラスチック資材等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄段階での処理 製造段階における燃料燃焼 マイクロプラスチックによる海洋生物等への影響 不適切な処理等による生態系の攪乱
家畜飼養	<ul style="list-style-type: none"> 牛等反すう動物の消化管内発酵によるメタンの発生 家畜排せつ物処理に伴うメタン、一酸化二窒素の発生 硝酸態窒素による水質汚染
ほ場管理	<ul style="list-style-type: none"> 水田土壌等からのメタンの発生 耕起による攪乱 土壌粒子の流亡等による水質汚濁、富栄養化

③-2. 有機食品は日本で売れていない

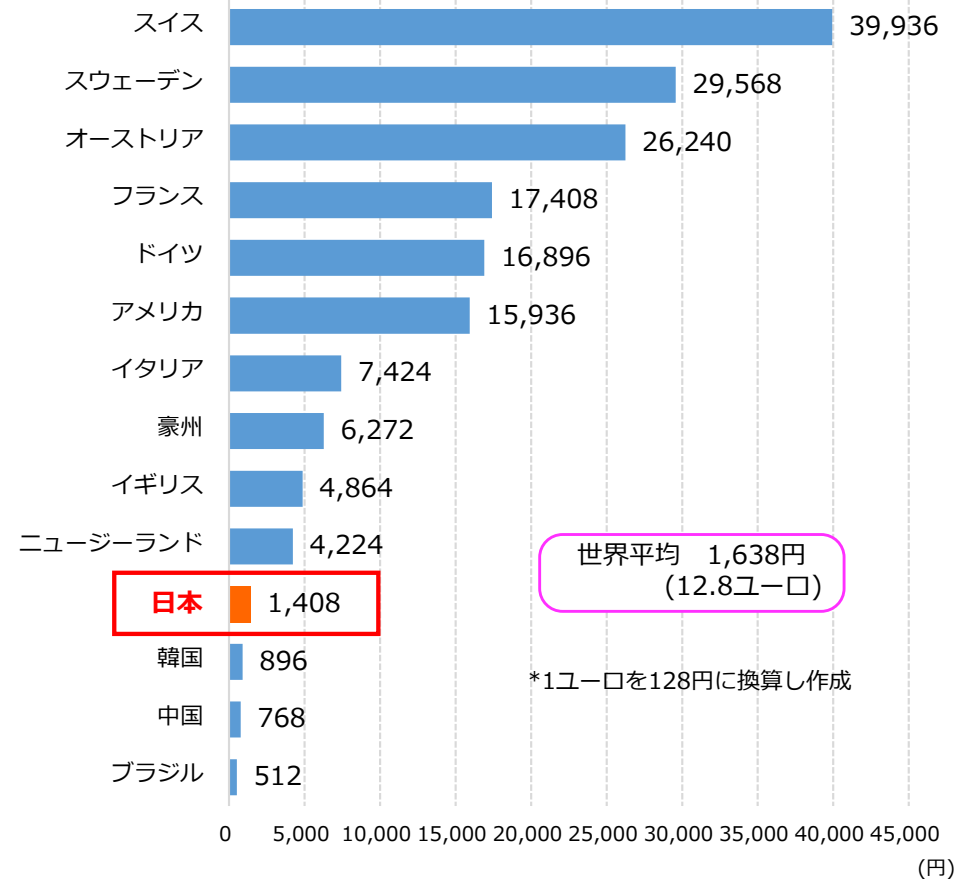
- 農薬や化学肥料に頼らず、環境への負荷を少なくして生産される「有機食品」は世界で売り上げが伸びています。
- 日本は海外の他の国に比べて売り上げは高くありません。日本では値段第一で考えられるという現実があります。

世界の有機食品売上額の推移



資料：FiBL&IFOAM「The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2010~2022」を基に農林水産省農業環境対策課にて作成

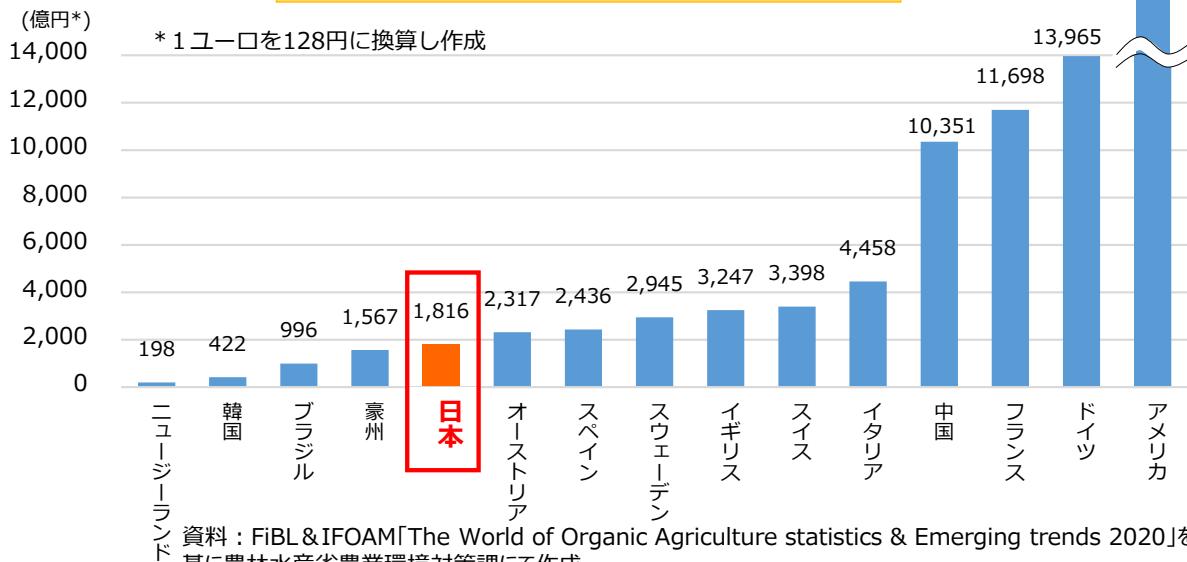
国別1人あたりの年間有機食品消費額（2018年）



*1ユーロを128円に換算し作成

資料：FiBL&IFOAM「The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2019」を基に農林水産省農業環境対策課にて作成

国別の有機食品売上額(2018年)



資料：FiBL&IFOAM「The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2020」を基に農林水産省農業環境対策課にて作成

③-3. 持続可能な原材料を買うことが必要

- 世界的な動きとして、持続可能性に配慮した輸入原材料を買うことが求められています。

輸入原材料調達の現状（世界）

- 世界的なSDGsの取組が加速し、輸入原材料に係る持続可能な国際認証等が欧米の食品企業を中心に拡大。
- 食品企業が原材料調達に当たって、川上の環境・人権へ配慮した取組が必要とされる。

輸入原材料調達の現状（国内）

- 上場食品企業のうち「持続可能性に配慮した輸入原材料調達」に関する取組をIR資料に記載し実施している企業の割合。

現状：36.5%（2021年）⇒目標：100%（2030年）

- 経済産業省の「サプライチェーンにおける人権尊重のためのガイドライン」を踏まえ、農林水産省が2022年度中に食品産業版ガイドラインの骨子を策定予定。
- 国際認証取得支援やトレーサビリティの確立に向け、日本のチョコレート業界関係者や専門家ガーナに派遣し、現地サプライヤー、カカオ生産者、ガーナ政府、NGOとのワークショップを開催するとともに、現地の生産農家に対して技術講習会を実施。



アブラヤシ（パーム油）



カカオ豆

輸入原材料調達の実現に向けた課題

- 「持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議 ESG/人権部会」等において、商社・食品企業の持続可能性確保に係る取組を支援し、**商社を中心としたトレーサビリティの強化による食品業界全体の底上げ**。
- 認証制度の消費者への普及啓発**等による持続可能性に配慮した食品の需要拡大により、持続可能性に配慮した原材料を活用した食品の消費増。
- 人権対応に係る優良事例**等を取りまとめる他、業界向けガイドラインを策定し、セミナー等により食品企業に**広く周知**するとともに、現場で活用されるように食品製造・流通・小売業者に働きかけ。
- 生産国における国際認証取得支援**やトレーサビリティの確立による**環境・人権対応の強化に向けた支援**等。



国際フェアトレード認証ラベル



レインフォレスト・アライアンス認証

③-4. 当日までに考えてきてほしいこと

①食の
安全保障

②農業者の
人口減少

③農業・食品
産業の環境対応

- いけんひろばでは、次のことを質問する予定です。当日までにできれば考えてきてください。

ミニテーマ③

農業・食品産業の環境対応

★「いけんひろば」までにできれば考えてきてほしい質問（当日は質問を聞きながら進める予定です）

質問①	<ul style="list-style-type: none">あなたが最近体験した身近な出来事や見たニュースの中で「食品と環境の関わり」を感じたものはありますか。どんな出来事・ニュースだったか、教えてください。<ul style="list-style-type: none">➤ 何か1種類の食べ物に関することでも、色々な食品に関することでも良いです。例:スーパーやレストランで〇〇保護に関するマークがついている商品を見た。消費期限が近い商品を買うことがおすすめされるようになった。食品ロスを削減している企業の取組を見た。
質問②	<ul style="list-style-type: none">質問①で紹介する出来事やニュースで、あなたはどう思いましたか。また、どのようなことを意識しているようにしていますか。<ul style="list-style-type: none">例:そのマークをとるために生産費用がかかり、値段が高くなったかもしれないので嫌だと思った。〇〇保護に関わっているから買ったり食べたりすることが良いことだと思った。
質問③	<ul style="list-style-type: none">その出来事やニュースのようになったのはなぜだと思いますか。思いつく理由を教えてください。
質問④	<ul style="list-style-type: none">環境に配慮した食品の中でも、どのような食品だと他の食品と比べて買いたいと感じますか。新しいアイデアでも良いので教えてください。<ul style="list-style-type: none">例:食べたら食品のゴミが空中で瞬時に分解される食品 など